

厚生労働省 外国人雇用対策検討会

令和3年4月12日

特定非営利活動法人 愛伝舎

代表者：理事長 坂本久海子

住所：〒510-0211 三重県鈴鹿市東旭が丘 3-5-3 メロディハイツⅡ102

TEL：080-3667-5129 活動エリア：三重県 設立年：2005年

MAIL: sakamoto@aidensha.org URL: <https://aidensha.org/>

活動方針：人口減少が加速する中、外国人との共生は日本の社会の大きな課題です。外国人を地域の構成員として社会を担う人材と捉え、総合的な支援を目指しています。多様性が豊かさにつながるような活力ある社会づくりを進めます。

活動概要：

【教育支援】カエルプロジェクト2009～（三井物産(株)事業）

「夢の懸け橋奨学金」事業2013-2019(自主事業)

外国人生徒キャリアサポート事業2019～（三重県教育委員会）

多文化子育てサロン事業2020～（WAM助成事業 がいたネット団体協働事業）など

【生活支援】心と体の健康相談会2020～（赤い羽根休眠口座 がいたネット団体協働事業）

生活相談（通年）新型コロナウイルス感染拡大防止外国人住民向け事業（三重県事業）

【就労支援】外国人介護人材養成研修2009-2014（JICA/三重県）

就労のための日本語と就労支援2020～（中部圏地域創造ファンド事業）など

就労支援について**日系人介護人材養成研修**

2009年—2014年まで、JICAの事業（2009年）と三重県の緊急雇用対策(7回)で日系人を対象に介護ヘルパー2級の研修を行い、125人がヘルパー2級を取得しました。リーマンショックで失業した人が、介護の仕事に就くきっかけを作りました。2009年の研修で介護施設に就労した人は、勤続12年目になりますし、今の介護の仕事をしている人も多くいます。正規雇用の仕事に就いて、生活面も子どもの教育も安定しているように思います。日本語ができるようになれば、直接雇用に就ける機会は増えていくので、大人の日本語教育を充実させてほしいと思います。

就労支援（中部圏地域創造ファンド休眠口座事業）



コロナ禍で雇用が不安定になっていますが、人材不足の業種があり、建設、運輸の仕事に直接雇用のニーズがあります。昨年運送会社と建設会社に日系ブラジル人男性を紹介し、正規雇用されました。運送業は荷受、荷下ろしの際の日本語力と大型免許があれば、求人はあります。また建設業も人手不足で求人はありますが、運輸業より求められる日本語能力は高くなります。次回は5月29日に三重県トラック協会の四日市支部で、会社説明会を開催します。経済危機によって簡単に解雇される派遣雇用でなく、介護の資格や大型免許など技術や資格を取得して、直接雇用されるように日本語学習と職業訓練の機会を増やしてほしいと思います。外国人の不安定な雇用状況は、子どもの教育にも影響を与え、虐待や学業不振になり、福祉の支援が必要な人を生み出していきます。納税者、社会の担い手となる施策を進め、活躍できる人材にできるよう進めてほしいと思います。

同時にオンラインの日本語学習を行っています。日本語ができる人は、コロナ禍でも失業していないので、日本語の習得が安定した就労の基本になります。

日本の社会が人口減少で縮んでいく中、定住者は増えており、人材として活躍できるようにすることは、企業にも社会にも外国人にもメリットが大きい。



- ・日本での定住を希望する外国人は増えている。→ 構成員、担い手として活躍してもらう。
- ・派遣雇用でなく、直接雇用で長期的に働けるように支援が必要。
- ・直接雇用に就ける日本語力と、日本の環境で働くための知識の習得が必要。
- ・習慣、マナーの理解（履歴書、服装、挨拶、保険など）
- ・働き方に関する理解（直接雇用と間接雇用の違い、生涯賃金・社会保障など）
- ・お金の使い方（貯金の習慣、長期的な生活設計）
- ・企業の側の理解も必要。外国人を受け入れる準備、やさしい日本語、体制づくり。
- ・入国前の研修機会を設ける（技能実習生は日本語や生活習慣を学んでから来日するが、ずっと定住できる日系人は、日本語も習慣も知らないまま定住し、地域の負担にもなる）
- ・外国人を雇用する企業の責務を求める。（いいとこ取り！？ではないか）
- ・日本語学習は、ボランティア任せにはしない。
- ・定住者は、日本語や習慣を学んでいるアジアの人材に居場所を奪われていく可能性が大きい。